

阿波市 議会だより

第17号 [平成22年12月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話0883-35-4118 FAX0883-35-4150

平成二十二年第二回(九月)

阿波市議会定例会の概要

九月定例会は、九月一日から二十四日まで開かれました。開会日には、野崎市長から、西長峰工業団地へのLED関連企業の進出、ファミリースポーツセンター設置準備事業等の子育て支援の取り組みなどについて行政報告がありました。このあと、平成二十一年度一般会計、特別会計、及び水道事業会計の決算認定、平成二十二年年度一般会計補正予算などの議案について、提案理由の説明がされました。また、決算審査特別委員会が設置されました。

代表・一般質問では、九人が市政全般について考えを問い、市の財政状況、定住対策、地上デジタル放送移行への対応、高齢者の所在不明問題、観光振興のための諸施策、子どもの体力づくりなどが論議されました。

十四日に決算審査特別委員会、また十五日に総務、十六日に文教厚生、十七日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会及び決算審査特別委員会の審査報告があり、市長提出議案二十一件が原案のとおり可決・認定されました。(議決結果の一覧は裏面に掲載しています。)

代表質問

阿部 雅志 議員
(阿波みらい)



平成二十一年度決算を総括しての本市の財政状況は、

各方面から分析して、県下、類似団体の中でも健全財政と言えるが、中・長期財政計画を策定し、行政需要などの変化に弾力的に対応できる財政構造の構築が不可欠と考えている。

地域主権を踏まえての取り組みについて、今年度の新規事業の進捗状況と、今後の事務事業、財源などの考え方は、阿波ブランド飛躍推進事業は来年度の事業開始に向け計画を策定している。阿波市観光物産協会は今年度の設立を目指している。また、ファミリースポーツセンターは来年度の運用開始に向け準備を進めている。学校給食施設の統合、整備計画について、本年四月に設置した板野郡西部学校給食組合からの脱退に



正木 文男 議員
(阿波清風会)

合併後六年目をむかえた今、限られた予算を効率的に活用し、新市基礎づくりのために、社会基盤整備中期計画があつて当然ではないか。市内道路網の整備、学校施設の整備、市営住宅の整備、上下水道の整備、公共施設の整備、農業生産基盤の整備等の中期計画を持つべきと考えるが、

合併特例債等の有効な財源の活用、市の財政状況も踏まえ

森本 節弘 議員
(志政クラブ)



阿波市の居所不明者調査を、どのように進め、対応はどのように考えているか。

調査の結果、戸籍上百歳以上の高齢者は二百八十人で、うち二百五十四人が所在不明であった。不明者の対応については、法務省に申請、許可を得て、法的高齢者消滅を進め、同時に住民基本台帳による実態調査も行っていく。

地上デジタル化移行後もテレビ放送受信を可能にするため、アナログ変換チューナーをACN局側に設置して、視聴サービスの提供はできないか。

平成二十七年三月までの暫定的措置にはなるが、総務省の要請も踏まえ、アナログ変換設備の導入を図り、市内ACN加入者負担の軽減、スムーズなデジタル移行につなげたい。

合併特例債の活用等も踏まえ、新市まちづくり計画の一年間の延長、変更計画を検討する考えはないか。

一般質問

笠井 高章 議員
(阿波みらい)



不法投棄か所、野焼きの見回りは、現状としてどのように行っているのか。また行政として、市民に対する啓発活動はどのようにしているのか。

不法投棄の罰則は、個人の場合は、五年以下の懲役もしくは一千万円以下の罰金、またはこの両方。法人の場合は、一億円以下の罰金が科せられる。また、阿波市ポイ捨て等及び犬のふん害防止に関する条例によ

藤川 豊治 議員
(阿波みらい)



市の発注工事について、御所小学校では、県内産の杉を利用しているが、いたる所に割れ目、すき目が出ており、教室の入口にもすき間ができています。業者が補修したようであるが、現在もすき目、割れ目がひどい。また阿波中学校の体育館跡の舗装工事についても、雨の後は水たまりが何か所もでき、検査基準が甘いのではないのか。

御所小学校については、自然乾燥で含水率十一%で基準に達している。特に割れ目のひどいものについては、今後直していきたい。阿波中学校の舗装については、これも基準をクリアしているが、再検査して悪い所は直していきたい。

池光 正男 議員
(日本共産党)



新庁舎建設は必要としないという立場から、中止、見直しをすべきだと主張してきたが、新庁舎建設について、市民全体の意見を聞いていたのか。

合併協議会で策定された新市まちづくり計画の中で、公共施設の統合整備については、市民生活に急激な変化を及ぼさないよう十分配慮し、地域バランス、財政事情を考慮しながら統合整備を図るとされており、これが阿波市の庁舎に関する基本理念とされている。また合併協定書でも、新市建設計画は、新市まちづくり計画に定めるとおりとされている。旧町の各庁舎の耐震診断の結果からも、防災の拠点としての新庁舎は必要という結論に至った。合併特例債を活用し、市民の利便性、公平性などを考慮しながら、建設に向かい進めていきたい。

鳥獣被害について、国の鳥獣被害防止総合対策交付金の予算が削減され、対策が計画どおり実施できない事態となっている。予算の確保を国に要求するとともに、市としても対策費をしっかりとつけていただきたい。

松永 渉 議員
(阿波清風会)



今後の農業振興策は何か。

生産戦略については、生産の低コスト化に取り組み集落営農やファミリースポーツ事業のモデル的取り組みに対して、来年度より市単補助を予算化したい。

阿波市独自の農業体験研修による就農定住制度を構築すべきでは、

農業体験研修制度は、十分に研究、精査したい。

臨時職員の身分保障、給与水準は適正か。

職務の内容と責任に応じた報酬を決定する」という職務給の原則からすれば、給与水準は適正である。

職員の採用時の年齢要件について、

今後の職員採用において、年齢要件の引き上げも含め、資質、能力を有する人材確保ができるよう、採用のあり方を工夫、検討する。

ファミリースポーツセンター設置に向けた進捗状況と課題は何か。

本年六月にアンケート調査、九月にセンター設置、事業実施要綱並びに会則を定める。十月にアドバイザー二名の公募及び会員募集、十一月から十二月に、子供を預かる時に必要な知識や技術習得の講義を開催する。今後の課題は、百名以上の会員登録数を確保することである。

榎原 賢二 議員
(阿波みらい)



阿波の土柱について、観光の価値がないと多くの市民から苦情が出ている。

土柱の修復という質問であるが、土柱は国の天然記念物に指定されており、保存に影響を及ぼす行為や現状の変更については文化庁長官の許可が必要となり、修復は不可能ではないかと考えている。

蜂須賀家政公さま町四百年になる今日、大名行列、やねこじき等に市長が積極的に出演し、市民が非常に喜んでいて。観光の目玉になるようにしてはどうか。

やねこじき、大名行列の今後の保存継承については、市もいろいろと尽力させていただいて、保存会の皆さん方も充分協議しながら、さまざまな取り組みに協力したい。

箸供養団地の敷地内に消防団の格納庫、詰所があるが、違法駐車により出動できないこともあった。早く用地の確保並びに新設を、消防団員から強く要望が出ている。

昭和五十一年から六十二年の間に建設された詰所が十四か所ある。市場方面第三分団の詰所は随分傷んでいるというところは承知している。財政当局ともしっかりと話をし、早急に新しい建物ができるように検討したいと思っている。

吉川 精一 議員
(阿波みらい)



国民健康保険特別会計は、運営面で厳しい局面を迎えており、決算の年度末の基金の残高が五千万円程しかなく、平成二十二年九月補正で、既に二十一年度の決算を三億円近く上回るという状況下にある。このような現状を踏まえて、今後の見直し、取り組み、徴収率の向上等について説明いただきたい。

平成二十一年度の決算は、歳入総額が四十五億二千九百六十二万円、歳出総額は四十三億八千九百二十九万円、差し引き一億四千三百三十三万円となっている。基金を三千七百万円取り崩し、一般会計から法定繰入金三千七百万円を入れてもらって、このような状況になっている。平成二十二年度は、基金の残高を取り崩し、独立採算で見込んだ場合、一億一千二百万円程の赤字となり、また二十三年度は、前年度の赤字が影響を与え、基金もない状況では、大幅な赤字になる見通しである。

新たな収納対策は、タイヤロックを購入し、納税意識の希薄な方に対し執行していきたい。また管理職の一斉徴収は、できれば十一月頃をお願いしたい。

三億円の増額については、療養諸費が伸びており、一億九千万円あまりとなっている。また後期高齢者医療の負担金も年々増額になっている。



行政視察報告

●庁舎建設特別委員会が榎原町総合庁舎を視察

9月22日、担当課職員の随行的のもと、高知県の榎原町総合庁舎を視察しました。この庁舎は、平成18年に完成した木造建築としては国内最大級のもので、「防災の拠点機能」・「住民の利便性」・「環境と榎原産材の利用」を考慮し、町役場、JA、銀行、商工会が入る総合庁舎となっています。大きく開放が可能な玄関ドアにより、広いロビーと駐車場が一体的に使用でき、イベントスペースや防災施設として活用できるよう工夫されています。また議場は、議会の閉会中には住民の多目的ホールとして利用されており、災害対策本部としての機能も備えられています。



榎原町総合庁舎外観



榎原町での研修

●阿波市議会が市川市大洲防災公園、立川市役所新庁舎などを視察

10月21日～22日、議員17名が、関係職員の随行的のもと、千葉県市川市の大洲防災公園、東京都立川市の新庁舎などを視察しました。

■大洲防災公園

工場の移転に伴う跡地を活用し、都市基盤整備公団が事業主体になり防災公園街区整備事業により整備され、平成16年に竣工したもので、平常時は近隣住民の憩いと交流の場として、災害時には避難や救援の拠点として機能することを目的としています。



大洲防災公園での研修

管理事務所で市川市の担当職員から説明を受けたあと、公園内の様々な防災施設を見学しながら議員からの質問に答えていただきました。

■立川市役所新庁舎

本年3月に完成し5月6日に業務が開始された新庁舎での研修は、立川市の担当職員から説明を受け、様々な質疑応答がありました。このあと、庁舎内の各所を詳細に案内していただきました。

<主な特長>

- ・協働会議室、多目的プラザなど市民活動スペースの確保
- ・低層、大平面を基本に、1階にほとんどの市民窓口を配置
- ・太陽光発電、コージェネレーションなど、省エネルギーの工夫



立川市役所での研修

活動状況報告

●徳島県西部市議会連絡協議会議員研修会

10月8日、吉野川市のセントラルホテル鴨島において、県西部市議会連絡協議会主催の議員研修会が開催され、阿波市議会からは18名の議員が出席しました。連絡協議会会長の河野利英吉野川市議会議長、川真田哲哉吉野川市長のあいさつに続き、松山大学法学部部長の妹尾克敏氏による「地域主権改革の動向と議会改革の目指すもの」と題した講演がありました。各市から出席した議員から出された質疑にも答えていただき、有意義な研修会となりました。



議員研修会

●委員会等の開催状況

- 8月25日 議会運営委員会、全員協議会、庁舎建設特別委員会
- 9月1日 全員協議会
- 9月6日 全員協議会
- 9月14日 決算審査特別委員会
- 9月15日 総務常任委員会
- 9月16日 文教厚生常任委員会
- 9月17日 産業建設常任委員会
- 9月24日 産業建設常任委員会
- 10月8日 文教厚生常任委員会
- 11月11日 議会広報特別委員会

阿波市議会 平成22年第3回(9月)定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第49号	平成21年度阿波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第50号	平成21年度阿波市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第51号	平成21年度阿波市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第52号	平成21年度阿波市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第53号	平成21年度阿波市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第54号	平成21年度阿波市伊沢谷簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第55号	平成21年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第56号	平成21年度阿波市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第57号	平成21年度阿波市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第58号	平成21年度阿波市御所財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第59号	平成21年度阿波市水道事業会計決算認定について	認定
議案第60号	平成22年度阿波市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第61号	平成22年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第62号	平成22年度阿波市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第63号	平成22年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第64号	平成22年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第65号	阿波市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	阿波市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	原案可決
議案第67号	阿波市工場設置奨励条例の一部改正について	原案可決
議案第68号	阿波市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第20条に規定される固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	原案可決
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任

議会広報特別委員会をよろしくお願ひします。

阿波市議会だよりは議会広報特別委員会が編集しています。本年4月から新しい委員構成になっています。今後も、定例会の報告や議会の活動状況を、市民の皆様にお伝えしていきたいと考えています。

<委員構成>

- 委員長 正木 文男 (阿波清風会) 副委員長 藤川 豊治 (阿波みらい)
- 委員 岩本 雅雄 (阿波みらい) 委員 榎原 賢二 (阿波みらい)
- 委員 森本 節弘 (志政クラブ) 委員 榎原 伸 (阿波清風会)

議会だより
編集雑感

今年の夏の猛暑も過ぎ朝夕は大変涼しくなりましたが、市民の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

議会も六月・九月の主な議論は庁舎の問題が大きくクローズアップされて理事者と議員と激しく議論を致しました。

また庁舎に関し土成町へという請願が提出されましたが否決となり、理事者より予定地及び関連予算等が提案され大多数で可決されました。

市長より、あわ北合併協議会(四町)が策定した、あわ北「新市まちづくり計画」に基づき市民生活に急激な変化をおよぼさないよう地域バランスや地域の特性に配慮して市場町切幡字古田地区に決定したことの説明がございました。

可決された主な理由として四万二千人の市民の利便性、地域バランス(市中央部の位置である)・環境・道路のアクセス等を考慮しての賛成であったと思います。このような議会の議決したことについて一人でも多くの市民の皆様にご理解いただけますよう、私達議員も懸命に努力をさせていただきます。今後とも一層のご理解ご協力を下さいますようお願い申し上げます。

(榎原賢二)